

Cisco Unified Communications Manager バージョン 12.5

Cisco® Unified Communications Manager は、ビデオ、音声、モビリティ、メッセージング、インスタント メッセージ (IM) 、およびプレゼンスのセッション制御およびコール制御を実現する、シスコ コラボレーション サービスの中心となる製品です。

製品概要

あらゆるネットワーク上で顧客やパートナーとより効果的にコラボレーションできるとしたらどうでしょうか？ しかも、どんなデバイスでも、どこからでも、低コストで、確実かつ安全に実施できるとしたら？ Cisco Unified Communications Manager (UCM) であればそれが可能です。

今日の職場環境は、前例のない方法でコラボレーション環境に挑んでいます。モバイルデバイスで頻繁に、より多くの人と接続されるようになっていきます。ほとんどの人は会議に費やす時間が増えており、Web 会議やビデオ会議が交差しています。

Cisco Unified Communications Manager は、シスコのコラボレーション ポートフォリオの中心となるアプリケーションです。人が中心のユーザおよび管理エクスペリエンスを実現するとともに、ビデオ、音声、インスタントメッセージとプレゼンス、メッセージング、モビリティなど、あらゆるコラボレーションサービスを、シスコ製品はもちろん、サードパーティ製デバイス上でもサポートします。UC Manager は、企業コールおよびセッション管理プラットフォームの業界リーダーであり、世界各国 30 万人以上の顧客を抱え、1 億 200 万台を超える Cisco IP 電話およびソフトクライアントを導入してきました。

Cisco Unified Communications Manager バージョン 12.5 の新機能

リリース 12.5 は、市場をリードする Cisco Unified Communications Manager の最新の機能リリースです。このリリースでは、クラウドコラボレーションへの移行経路をお客様に提供すると同時に、ユーザエクスペリエンスの向上、管理ワークロードの簡素化、セキュリティの強化などの機能を通じて、Cisco Unified Communications Manager のリーダーシップをさらに強化します。

表 1 に、Cisco Unified Communications Manager バージョン 12.5 の主な機能を示します。

表 1. UCM バージョン 12.5 の機能の概要

機能	利点
簡素化された管理	
シンプルなアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> Unified Communications Manager およびインスタントメッセージ/プレゼンスサービス 12.5 のネイティブアップグレードエクスペリエンスの改善により、アップグレード期間、サービスへの影響、手動によるタッチポイント、シーケンスの複雑さが軽減されました。 12.5(1) 以降への 10x、11x、12x の自動アップグレード前およびアップグレード後のチェック。アップグレードに失敗する可能性がある問題の早期検出と解決策を提供する。 データベースレプリケーションは再起動前の段階に移行され、変更管理を簡素化し、再起動後の更新によるユーザ/デバイスの影響を軽減します。 UCM パブリッシャによって制御されるワンタッチクラスタ全体のアップグレードおよび再起動によって、手動のタッチポイントが 90% 削減され、メンテナンス時間の計画が簡素化され、全体的な期間（大規模システムの場合は 50%）がさらに短縮されます。 プライムコラボレーション導入バッチ COP インストールとタスクチェーンにより、マルチステージ操作のための手動のタッチポイントが削減されます。
アクティベーションコードによるデバイスのオンボーディング	<ul style="list-style-type: none"> アクティベーションコード オンボーディングでは、管理者は電話機の MAC アドレスを事前に知らなくても、CUCM で電話レコードを作成できます。 電話のオンボーディングは、単純な 16 桁の 1 回使用のアクティベーションコードを使用して制御されます。このアクティベーションコードは、管理者が CUCM で MAC アドレスなしで電話レコードを作成する際に、電話レコードごとに生成されます。

機能	利点
	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザを特定の MAC アドレスを持つ電話機に関連付けることなく電話機をユーザに配布できるため、電話機の設置コストが削減されます。 ● 管理者の支援なしでエンドユーザが実行できる簡単なアクティベーション。 ● 12.5 で、オンプレミスの電話機でサポートされる MRA ベースのエンドポイントサポートは今後のサービスアップデートで提供される予定です。
Jabber 設定ファイルの管理	<ul style="list-style-type: none"> ● CUCM 管理インターフェイスを介して Jabber 設定を中央で管理する管理者をサポートします。 ● 管理者は、サイトごとのインストール、ユーザグループごとの導入ニーズに基づいて複数の Jabber 設定テンプレートを作成できます。 ● 設定ファイルのアップロード、ftip サービスのリセット、XML ファイルの編集が不要です。
スマートライセンス - BE6000 モード	<ul style="list-style-type: none"> ● BE6000 モードで CUCM を有効にして、そのモードにスタータパックライセンスを割り当てます。 ● スタータパックライセンスは UCL、UWL モードです。
デバイスのすばやい追加とユニファイドデバイステンプレートの機能拡張	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザ（会議室電話など）に関連付けられていないデバイスを作成し、ユニバーサル デバイス テンプレートを関連付けることが可能です。 ● ユニバーサルデバイス/回線のテンプレートのインポートとエクスポートをサポートします。これにより、管理者は軽微な変更を加えてサイトごとのテンプレートを簡単にカスタマイズできます。
SIP トランクコールの CMR	<ul style="list-style-type: none"> ● Cisco Unified Border Element (CUBE) または Cisco IOS ゲートウェイで終了する SIP トランクコールの CUCM コール管理レコード (CMR) での音声品質メトリックの書き込みをサポートします。
会議ブリッジでの RFC 2833	<ul style="list-style-type: none"> ● SCCP 会議ブリッジでの RFC 2833 DTMF をサポートします。会議参加者が RFC 2833 DTMF のみをサポートするシナリオで、DTMF インターワーキング用の MTP を挿入する必要がなくなりました。
ネイティブ音声 XML	<ul style="list-style-type: none"> ● ISR 4K では音声 XML がサポートされていないので、モバイル音声アクセスでネイティブ音声 XML がサポートされています。ネイティブ VXML は、同じ CUCM 上でレガシーと共存します。
ユーザエクスペリエンスの向上	
ネットワークプロキシを介した会議室の検索	<ul style="list-style-type: none"> ● UDS プロキシを使用すると、OpenLDAP サーバ内でルームオブジェクトとして表される会議室の検索が容易になります。 ● これにより、Cisco Jabber クライアントは会議室に関連付けられた名前およびダイヤル番号で会議室を検索できます。
エクステンションモビリティ機能の拡張	<p>最大ログイン時間のユーザ制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CUCM の管理者が、EM および EMCC の最大ログイン時間を既存のクラスタレベルからユーザグループまたは個人ユーザのユーザレベルに拡張できるようにします。 ● エンドユーザは、セルフケア ポータルを使用して値を設定できます。 ● ユーザレベルの最大ログイン時間は、クラスタレベルの設定よりも優先されます。 <p>EM と EMCC 間のマルチデバイスログインの一貫性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モビリティクロスクラスタの複数ログイン動作は、エクステンション モビリティの複数ログイン動作と一致します。 ● 複数のログイン動作は同じクラスタまたは別のクラスタ内のログインに適用され、ユーザは簡単にクラスタ内およびクラスタ間を頻りに移動できるようになります。
IM/P の機能拡張	<p>モバイルでの常設チャットのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デスクトップ上の Jabber と同様に、モバイルデバイス上の Jabber クライアントに常設チャットのサポートを拡張します。 ● グローバルまたは個々のルームレベルでのミュート/ミュート解除をサポートし、ミュートされたルームの @ メンション通知も受信します。 <p>チャットメッセージの暗号化されたメッセージアーカイブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インスタントメッセージは、外部の MS SQL データベースにアーカイブされます。メッセージは、アーカイブの前に暗号化されます。 ● 企業がコンプライアンス要件を満たすのに役立ちます。
外部の名前と番号の匿名化	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザはアウトバウンドコールを匿名化して、ダイヤルイン (DID) 番号の代わりに外部プレゼンテーション名と番号を表示できます。
セキュリティとコンプライアンス	
SIP 回線側の OAuth サポート	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスの登録に SIP 回線側の OAuth トークンを使用します。 ● CAPF 交換なしでセキュアな SIP シグナリングと SRTP メディアを許可します。 ● セキュアな SIP および SRTP により、メディアパス最適化を使用して Expressway-MRA を介した ICE が有効になります。 ● Expressway から B2BUA を削除します。 ● Expressway のキャパシティを増やして、総所有コストを削減します。 ● このリリースの Jabber クライアントのみでサポートされています。

機能	利点
マルチ分岐をサポートする CUCM のネットワークベースの録音 (NBR)	<ul style="list-style-type: none"> ● Cisco Unified Communications Manager では、メディアプロキシとして Cisco Unified Border Element (CUBE) を使用した同時マルチストリーム録音がサポートされています。 ● メディアプロキシは、録音ストリームを最大 5 つの録音サーバに分岐します。 ● 録音ソース、電話機の組み込みブリッジまたはゲートウェイベースは同じままです。 ● 冗長性とフェールオーバーレコーダーを録音ソリューションに追加します。 ● 音声分析やモニタリングなど、追加のメディア処理用に追加のメディアストリームを提供します。 ● 冗長性を確保するために、複数の録音サーバ上でエンドユーザ コールの録音が義務付けられる金融分野のお客様のような規制の厳しい業界での MIFID 準拠を可能にします。
認証済みコールのコール録音	<ul style="list-style-type: none"> ● 「認証済み」電話機から非セキュアレコーダーまたは SRTP フォールバック機能を備えたセキュアレコーダーへのコールの録音を可能にします。 ● 何らかの理由によりデバイスでの暗号化が有効になっていない導入で、暗号化モードではない電話機から発信されたコールを録音できます。
スマートライセンス - 特定のライセンスの予約	<ul style="list-style-type: none"> ● Cisco Smart Software Manager サービス (CSSM) に接続できない高度にセキュアな環境用の機能。カスタマー スマート アカウントには、ライセンス予約の権利が必要です。 ● 生成された承認コードは CUCM にインストールできます。指定されたライセンス消費制限内で製品を実行する場合、通常の同期は不要です。 ● 承認コードを提供する製品に新しい承認コードをインストールする必要があります。変更は、製品の承認コードが CSSM で更新されるまで有効になりません。 ● 予約済みライセンスの増減には、CSSM でのライセンスの再予約が必要です。
スマートライセンス - プライバシーのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ● ライセンス登録および Cisco Smart Software Manager または Satellite との同期時に、ホスト名や IP アドレスの代わりにデバイス固有の識別子の使用をサポートします。
楕円曲線暗号のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗号化曲線暗号 (ECC) は、RSA と同等の暗号強度を提供しますが、より小さいキーサイズを備えています。 ● SIP TLS および HTTPS Web アクセスでは、7800、8800 シリーズの電話機で ECDSA ベースの暗号スイートをネゴシエートし、他のインターフェイスは RSA の使用を続けます。
きめ細かいアクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティ関連の構成設定について、さまざまなレベルの制限を有効にします。たとえば、特定の管理者ユーザまたは管理者ユーザのグループが新しいエンドユーザを追加したり、エンドユーザパスワードを変更することができます。
セキュリティ機能の拡張	<ul style="list-style-type: none"> ● Enterprise CA (MS) による自動エンドポイント証明書登録：オンラインモードの外部 CA が、電話にアップロードされたローカルに有効な証明書に署名することを可能にし、手動の手順を減らすことができます。 ● 暗号制御：管理者は、SIP、HTTP、またはすべての TLS および SSL 接続に推奨される暗号を設定できます。SSH インターフェイスの場合、暗号、キー交換、および MAC を設定できます。弱い暗号の無効化に役立ちます。 ● CUCM Web インターフェイス (OSAdmin および DRS) の SAML SSO のサポート。 ● TLS の最小バージョンは 1.2 に設定できます。 ● リモートアカウントのセキュリティとエンドユーザのログイン情報のセキュリティが強化されました。 ● 管理制御による良好なセッション管理。 <ul style="list-style-type: none"> ○ アプリケーションごと、ユーザごとの同時セッションの最大数を制限します。 ○ ユーザのアクティブなセッションを終了します。
クラウド接続	
Cisco Unified Communications Manager Cloud (UCM Cloud)	<ul style="list-style-type: none"> ● シスコが北米、アジア太平洋地域、日本でホストおよび運用する柔軟なサブスクリプションモデルを通じて提供される、エンタープライズグレードのクラウドコールとチームのコラボレーション。 ● Cisco IP 電話、モバイルデバイス、デスクトップクライアントの機能と利点を備え、音声、ビデオ、メッセージング、ミーティング、およびモビリティソリューション。 ● インフラストラクチャをクラウドに移行したいが、高度にカスタマイズ可能なソリューション、アプリケーションに対する管理者制御の保持、および使い慣れた管理エクスペリエンスの維持が必要なお客様に最適です。

Cisco Unified Communications Manager バージョン 12.5 の注文

- CUCM 12.0 から CUCM 12.5 までは、**スマート ライセンスのみがサポートされます**。ライセンスは、Smart Entitlements です。お客様はスマートアカウントを作成する必要があります。
- Cisco Smart Licensing データ シート : <https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/software/smart-accounts/datasheet-c78-743940.html> [英語]。
- シスコ スマート ライセンス : <https://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts/software-licensing.html> [英語]。
- Cisco Smart Software Manager : <https://www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/index.html> [英語]。
- Cisco Smart Software Manager サテライト : <https://www.cisco.com/go/smartsatellite> [英語]。
- Cisco スマート アカウント : <https://www.cisco.com/web/JP/ordering/smart-software-manager/smart-accounts.html> [英語]。

表 2 は、トップ レベル SKU の注文一覧を示します。発注可能な全部品のリストについては、『Cisco Unified Communications Solution Ordering Guide』を参照してください。

ソフトウェアオプション (新しい拡張またはアップグレード)	
CUCM-VERS-12.5	CUCM ソフトウェアバージョン 12.5
CUCM-VERS-12.5-XU	CUCM ソフトウェアバージョン 12.5 規制対象外
新規および拡張 UCM バージョン 12.5 の注文	
UCL-UCM-LIC-K9	トップレベル SKU
機能オプションの SKU	
LIC-UCM-12X-ENHP	UC Manager-12.x Enhanced Plus シングル ユーザ
LIC-CUCM-12X-ENH	UC Manager-12.x Enhanced シングル ユーザ
LIC-CUCM-12X-BAS	UC Manager-12.x Basic シングル ユーザ
LIC-CUCM-12X-ESS	UC Manager-12.x Essential ユーザ ライセンス ユーザ
LIC-TP-12X-ROOM	TelePresence® ルームベース エンドポイント、シングルスクリーンまたはマルチスクリーン
アップグレード注文 (SWSS を使用しない顧客向け)	
UCL-UCM-UPG-K9	トップレベル SKU
機能オプションの SKU	
UPG-CUCM-ENH	UC Manager Plus (Smart Entitlements) への移行
UPG-CUCM-USR	UC Manager Enhanced (Smart Entitlements) への移行
UPG-CUCM-BASIC	UC Manager Basic (Smart Entitlements) への移行
UPG-CUCM-ESS-USR	UC Manager Essential (Smart Entitlements) への移行
UPG-TP-ROOM	UC Manager TelePresence ルーム ベース エンドポイント (Smart Entitlements) への移行

Cisco Unified Communications Manager 10.x 以降のバージョン (PLM ベースのライセンス) から UCM 12.5 への移行

- お客様はスマートアカウントを作成する必要があります。詳細については、次を参照してください。
<https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/unifiedcommunications/unified-communications-licensing/presentation-c97-739389.pptx>。

- 最初に既存の従来の PAK または PLM をスマートアカウントおよびバーチャルアカウントに移行する必要があります。
- アクティブなソフトウェア サポート サービス (SWSS) を使用しているお客様は、Cisco Smart Software Manager (CSSM) ポータル (<https://software.cisco.com/#SmartLicensing-LicenseConversion>) で、従来のライセンスを Smart Entitlements に変換することができます。
- 次の 2 種類の移行方法がサポートされています。
 - PAK ベース : すでに履行された PAK、部分的に履行された PAK、履行されていない PAK で移行を実行できます。
 - デバイスベース : PLM ベースのライセンスを Smart Entitlements に変換できます。

詳細については、次のリンク先を参照してください。 <https://www.cisco.com/c/en/us//buy/smart-accounts/software-licensing.html> [英語]。

SWSS 契約なしでスマートライセンスが有効なバージョンにアップグレードする方法

v9、v10、v11 (ユーザベースのライセンス) からスマートライセンスへのアップグレード。SWSS と共にアラカルトアップグレード SKU を注文します。

バージョン 9 (DLU) 以前のバージョンからスマート ライセンスにアップグレード :

- 従来のサーバからの LCU レポートに基づいて、アラカルトアップグレード SKU を注文します。
- SWSS を追加します。新しいライセンスを追加注文できます。

IM&P 導入の仕様

Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service は、デバイスの数とデータセンターの要件に応じてさまざまな構成で Cisco UCS 仮想モデルを通じて導入できるので、導入の選択肢と拡張性に柔軟性があります。

集中型 IM&P の導入については、次のリンク先を参照してください。

https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/docs/voice_ip_comm/cucm/im_presence/configAdminGuide/12_5_1/cup0_b_config-and-admin-guide-1251/cup0_b_config-and-admin-guide-1251_chapter_01000.html。

正しい IMP VM の設定を選択するには、次のリンク先にある設定と管理ガイドの「IM and Presence のサイジング展開」を参照してください。 https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/unified-communications/unified-presence/products-installation-and-configuration-guides-list.html。

サポートされる Open Virtual Appliances (OVA) とその関連特性 (vCPU、vRAM、vDISK、vNIC) については、次のリンク先を参照してください。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/virtualization-cisco-ucm-im-presence.html [英語]。

IM&P のサイジングツール

Cisco Capital

目標の達成を支援する柔軟な支払い方法

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 ヶ国あまりの

国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちら](#)をご覧ください。

詳細情報

旧バージョンの Unified Communications Manager からのインストールおよびアップグレードの詳細については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-guides-list.html を参照してください。

Unified Communications の推奨されるアーキテクチャのガイドについては、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/design/guides/PAdocs.html?dtd=ossdc000283 [英語] を参照してください。



シスコシステムズ合同会社
Cisco Systems, Inc.
サンノゼ(カリフォルニア州)

アジア太平洋本社
Cisco Systems (USA) Pte. Ltd.
シンガポール

ヨーロッパ本社
Cisco Systems International BV Amsterdam,
アムステルダム(オランダ)

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/contact-cisco.html) をご覧ください。



Cisco および Cisco のロゴは、米国およびその他の国における Cisco およびその関連会社の商標を示します。シスコの商標の一覧は、https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/legal/trademarks.html でご確認ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)。